



総会ウォーク(富士宮パワースポットめぐり)

2016.01.17 15km ゆったり 9km

参加者の皆様へ

- ・ 無断で単独行動をとらないようにしてください。
- ・ 主催者は、歩行中の事故について傷害保険に加入している他は応急措置以外の責任は負いません。
- ・ スタート前には必ずトイレを済ませてください。
- ・ 原則として右側通行を遵守し、2列以内で歩きましょう。
- ・ 一般道を横切の場合は、役員の指示に従ってください。
- ・ 体調が悪くなったら遠慮せずに役員に連絡願います。

コース

往路(JR) 富士宮駅南口＝入山瀬駅 (入山瀬集合は 8:20)
8:00(8:18 発) 8:26 着

ウォーク

入山瀬駅(体操・WC)・・・富士西公園(WC)・・・丸塚の山之神神社・・・新梨の庚申堂
8:30～50 9:20～35 10:15 10:25
・・・滝ノ上の不動尊(WC)・・・安養寺・・・子安神社(昼食・WC)・・・きらら
10:45～11:00 11:10 11:20～12:15 13:45
* ゆったり: 丸塚の山之神神社に行かないで子安神社で休憩し、富士根駅近くの
笠井田公園で昼食をとり、富士根駅から電車で富士宮駅へ
富士根発下り電車 11:26 11:52 12:27 12:55 13:25

コースの概要

今回のコースは富士宮市周辺ウォーキングマップの「狸寺と子安神社周辺をたずねるコース」を中心に歩きます。電車で入山瀬駅へ行き、入山瀬公園で体操をしてスタートです。踏切を渡って北上し、富士西公園でトイレ休憩です。昼食までトイレが少ないので必ず寄るようにしてください。休憩後さらに北上して西富士道路のガード下を通り、県道76を横断するとすぐに丸塚の山之神神社に到着です。ここには丸塚の地名の由来である丸い自然石や双体道祖神があります。神社を出てすぐに道標のあるところで左折し、新梨の庚申堂を経て滝ノ上の不動尊に行きます。岩屋の中に不動明王が祀られている見ごたえのある場所です。ここにもトイレはありますが数が少ないので緊急の方のみとします。階段を下りて天間沢を渡り、沢に沿って安養寺に向かいます。ここは狸寺とも呼ばれ、境内には狸和尚の石像があります。次に再び県道76を横断して子安神社に行き、ここで昼食です。杉田在住の彫刻家塩川勇さんが彫った木彫りの犬像を撫でれば子宝に恵まれるといわれ、県内外から多くの参拝者が訪れるパワースポットです。その他、犬や猫の彫りものがたくさんあります。午後は市道・県道を通り、市役所前を歩いて、総会の会場であるきららに向かいます。
ゆったりコースは、丸塚の山之神神社や滝ノ上の不動尊には行かず、途中で右折して子安神社に向かい、ここで参拝、トイレ休憩したら、富士根駅近くの笠井田公園まで歩き昼食です。富士根駅からは電車で富士宮駅まで行き、きららに向かいます。

子安神社

「安」という女の子にまつわる伝説があり、安全の守り神として有名な神社である。拝殿には各集落の子安講が奉納した絵馬や、安産のお礼に奉納した人形がある。昔は「ほうこうさん」(這子さん)という手作りの素朴な人形が奉納されたという。

総会に参加しましょう

会場 富士宮市駅前交流センターきらら
時間 14:15 ～ 16:00
駐車場 きらら駐車場(2時間30分無料)

緊急時連絡

宇佐美武幸 090-7025-9607
増田 春恵 090-4119-3056

次回申込 (昼食場所で) 御殿場線19駅ウォークIV

☆期 日 1月31日(日)
☆集 合 富士宮駅南口 7:30
☆参加費 3000円
☆決 切 1月26日(火)

新梨(しんなし)の庚申(こうしん)堂

享保(1716～1736)の年号が記された「庚申さん」といわれる石塔と正徳5年(1715)の銘がある石の観音像が祀られている。庚申(かのえさる)とは干支(えと)の60通りある組み合わせの一つ。
庚申信仰(こうしんしんこう)とは、中国道教の説く「三尸説(さんしせつ)」をもとに、仏教、特に密教・神道・修験道・呪術的な医学や、日本の民間のさまざまな信仰や習俗などが複雑に絡み合った複合信仰である。

滝ノ上の不動尊

天間沢の谷に下りる途中の岩屋に不動明王が祀られている。元々ここには安養寺の支院龍泉寺の不動堂があったといわれ、付近には六観音など多くの石造物がある。また、ここは以前生活用水として利用されていた杉田用水の水源地であり、用水の開削に尽力した恩智養宗(おんちようそう)和尚の記念像がある。

安養寺

安養寺には古くから、狸が僧に化けて修行したという狸和尚の伝説が伝わっている。また、恩智養宗(おんちようそう)和尚が杉田用水を開削した時に出土したという土偶が保管されている。

